

あおもり教育のつどい 2022

日時：2022年11月5日（土）10：00～17：30

会場：青森県教育会館（青森市橋本1-2-25, 駐車場50台ほど有り）+ Zoom（全体講演のみ併用）

●全体講演—Zoom ID：860 5868 8796 / パスコード：189676

※Zoom参加の場合は、氏名の表示とビデオONでの参加をお願いします。

資料代：100円

保育室：10：00～17：30（無料・当日受付可。おやつ等は持参してください。）

日程：

9:30	10:00	12:00	13:00	15:00	15:20	17:30	17:40	18:10
受付	分科会 I	休憩	開会・全体講演	移動	分科会 II	休憩	全国レポート打ち合わせ	



全体講演：「生徒に学ぶエンパワメント改革」

～生徒を元気づける学校づくり～

講師：山田勝治氏（大阪府立西成高校校長）

～講師紹介～

1957年、大阪市西成区生まれ。1990年から2004年までの15年間、「成人識字」教室の運営に関わる。05年、府立西成高校に教頭として赴任。09年から13年3月まで同高校校長を務めた後、異動。17年、同校長として再赴任。「基礎教育保障学会」所屬。著作に『格差をこえる学校づくり 関西の挑戦 阪大リール』（志水宏吉編、大阪大学出版会）内の第2部「先端でもあり、途上でもある」—高校版「UD化」計画—等。また同校では全国初めて開始された「校内居場所カフェ」がある。

② ヨナハさんは高2になろうとする時、妊娠が判明した。一斉休校が重なり誰も気づかなかつた。妊娠7ヶ月で、担任の中村先生と相談した。女性教員等と相談した時「子どもを産み、留年せず卒業したい」と伝えた。ヨナハさんは、退学を覚悟した。ところが、先生方は「これからどうやって続けようか」と話し始め

先生とケースワーカーとの話合いで「ファミリーホーム」への入居が決まった。高校で、友達と話す時「中学校へ行つてなかった」「私も行かんかったわ」と。不登校は自分だけでないと気づいた。授業は「中学校からの学び直し」から始まった。やがて、友達に勉強を教えられるようになった。生徒会に入り、文化祭のテーマを「虹」とした。どの人も、それぞれらしく生きられる学校や社会、そんな願いを持つようになった。「誰もが前向きに働ける会社」を作りたい。今年の2月一般入試で大阪経済大学経営学部に合格した。

① 2022年3月、3年3組の沖本タカト君は「先生に助けていただいて、卒業できました」と担任の中根先生と握手した。中学は不登校だった。自室にこもって対戦ゲームに明け暮れた。通知表は「1」が並んだ。小2で、父が病死。母はスーパーや清掃員として働いた。母の酒量が増えていく。缶酎ハイの空き缶を片付けるのがタカトの仕事になった。母を助けたかったが、誰にも相談できなかつた。西成高校に入学して一月後、母が自宅で倒れた。救急車を呼んだが間に合わなかつた。

今年の3月に卒業した2人の事例を紹介する。（朝日新聞2022.3.20より）

昨年2月NHKの「逆転人生」で紹介された大阪府立西成高校をご存知ですか。

20年ほど前まで、西成高校は新入生7クラスと留年生を合わせて8クラスでスタートするが、2学年になると6く5クラスになり、3年次には4クラスになることも稀でなかつた。年間100人の中退とはそういうことだ。山田先生はそのような西成高校に2005年に赴任した。25%の子は家庭に学習机がなかつた。貧困、家族の病気、いじめ…。学習の機会が失われてきた生徒たちの実態。そして、授業不成立と大量の中退者。そこから、山田先生をはじめとする先生方の苦悩とたたかいが始まった。

*山田先生は、当日、会場で講演予定です

この15年にわたる学校再生を、「反貧困教育」などを入れながら当日とまでお話ししてもらえるか期待している。

現在、西成高校は、大阪府教育委員会から「エンパワメントスクール」の指定を受けている。この10年、就職内定率は100%となった。軽度知的障害の子も入学しているが、支援学級を設けず、通常学級で自立と就労を目指している。西成高校には1割を超える外国人ルーツの子、特別なニーズの必要な子が3割を超える。その中で、いわゆる「適格者主義」（高校の教育課程を履修できる者を入学させるという考え）を乗り越える学校を目指してきた。更に、福祉との絆を深める取組みを重視してきた。教育以前に横たわる生徒の生活そのものの保障だ。

今は、娘と二人、母子生活支援施設で暮らしている。その施設への入居も教員と共に区役所に行つて決めた。卒業後の会社も決めた。「いつか娘に『ママは学校でも頑張ったんだよ』って話せたいな」と。

中村先生はヨナハさんに「母親」だけでなく「高校生」もやつて欲しかつた。運動会の緑組の団長を勧めた。ヨナハさんは立候補し団長になった。団員には、子どもがいること。放課後の練習は早く抜け娘を迎えに保育園に行くことを話した。5・6・7月と3か月の練習。娘に離乳食を食べさせ、寝かしつけ、布団の中、パソコンで曲を編集した。ダンスの配置は休み時間考えた。体育祭当日、歓声に包まれながら踊り、太鼓をたたき、後輩から「ヨナハさんが団長で良かったです」と言われた。

2年生の11月に出産。復学後は、自転車で娘を保育園に送迎。試験前は背中のリュックに教科書、抱っこひもで娘を保育園に届けた。娘には「楽しい思いをたくさんさせてあげたい」と思った。…が、現実にはパンツクの連続だった。1時間おきの夜泣き、パートナーには別れ話をされ、母親を頼つたが、親子喧嘩の連続。そんなヨナハさんの話を担任の中村先生は涙を流して聞いてくれた。3年生になった。

た。体育は見学でレポート提出。出産5週間前から出席停止等…。具体的な話になつていった。

主催 あおもり教育のつどい2022実行委員会

（青森県教職員組合、青森県高等学校・障害児学校教職員組合、青森県私立学校教職員組合連合）

【申し込み先】 青森県教職員組合…青森市橋本一丁目2-25 / TEL：017-734-7279 / FAX：017-777-1440

/E-mail：aomoritu@iaa.itkeeper.ne.jp

後援 青森県教育委員会、青森市教育委員会、平内町教育委員会、今別町教育委員会、外ヶ浜町教育委員会、蓬田村教育委員会、青森支部、青森県教育厚生会、弘前大学職員組合

※当日の参加について…あらかじめ検温していただき、37.5℃以上ある方・体調の悪い方は参加をご遠慮ください。また、マスクの着用等の感染防止対策にご協力ください。

★分科会内容・参加申し込みは裏面★

分科会Ⅰ（課題別）


10：00～12：00



分科会	レポート・話題提供	担当	研究協力者
1 小学校と教育	「暮らしを書き価値を共有する学級通信・小3」 田村文子（三内西小） 「総合的な学習の指導法」 寺下之雄（八戸工業大）	島口起子（新城中央小） 木村洋子（三好小） 若山ひろみ（泉川小） 三浦由起子（篠田小）	寺田 肇（青森県国民教育研究所）
2 中学校と教育	「教室に入れない子どもたち」 中山真理（藤崎中） 「生徒が楽しめる授業をめざした道徳実践」 納谷 恵（戸山中）	長内尚明（平賀西中） 森山友勝（下田中）	佐藤真紀子（弘前南中）
3 高校と教育	「クラス経営（3年ぶり9度目～はじめてのじどうしゃ科～）」 小山内由布子（弘前東高） 「令和の私立学校の現状（仮題）」 角田義久（五所川原一高）	中束博之（弘前東高） 田澤周平（弘前学院聖愛）	山口直之（全国私教連執行委員長）
4 特別支援教育	参加者待寄り。 各自の課題を参加者で話し合い。	高村一也（八戸一養） 中村鉄人（蟹田小）	
5 平和・教育条件	「青森県私立学の学費滞納状況について」 詩苗克敏（東奥学園高） 「住民の願いが叶う町政をめざして」 冲津正博（横浜町議員）	佐藤武（むつ市議）	成田 保（青森生活と健康を守る会）
6 不登校・高校中退	「不登校の息子が大学を目指すまで」 苫米地太郎（五所川原一高） 「多様な受け皿を～子どもの不登校体験から」 千葉由佳（青い森でのびのび育つ会）	三上和郎（中南支部）	佐々木りえ子（公認心理師、スクールカウンセラー）

分科会Ⅱ（教科別）

15：20～17：30

分科会	レポート・話題提供	担当	研究協力者
7 保健室	「アンケートを基に参加者で話し合う」	桑野三千代（六ヶ所第二中） 齋藤祐子（弘前北小）	今泉文子（元養護教員）
Zoom ミーティング ID：860 5868 8796、パスコード：189676			
8 国語	「漢文の世界に親しむ～故事成語」（中1）」 木村恵子（平賀東中） 「ユニバーサルデザインだヨ！全員集合」 後藤真人（五所川原一高）	袴田孝子（浪岡養） 小森愛美（向陵高）	鳥居 孝（東奥学園高）
9 社会	「誰を議員に選ぶ？～主催者を育てる授業に挑戦してみよう～」 松林宏樹（野辺地中） 「模擬選挙をやってみよう！」 吉田守夫（向陵高）	阿部 聡（上北支部）	川村 隆（元高校教員）
10 算数・数学	「高校数学でのICT活用」 片桐 拓（弘前南高） 「数学の『定期テスト』を考える～新課程と3観点～（仮題）」 田山英仁（五所川原一高）	逢坂友暉（佃中） 板橋 徹（東奥学園高）	中村 潤（千葉学園高）
11 理科	「環境問題について考える」 伊藤次夫（七戸中） 「物理授業の最適解を求めて～奮闘した8年とこれから～」 青山文平・長内風太（聖愛高）	小林孝雄（中南支部）	荒 誠（聖ウルスラ高）
12 芸術	「タブレット端末と美術の授業の向き合い方」 清水大俊（田名部中） 「書道という芸術を学校で楽しめるように」 嵯峨寛之（弘前二養）	高村一子（東青支部）	一戸義規（青森美術会）
13 体育	「小学校高学年マット・跳び箱運動」 山谷 優（古川小）	山口 登（和徳小）	中道博章（三八支部）
14 外国語	「オンライン英会話から見えたもの」 後藤順子（東奥学園高） 「商業高校でのスピーチコンテストと選択科目の指導について」 渡辺祥子（八戸西高）	三宅 愛（野辺地高） 蛭沢広美（青森東高）	金野好峰（新英語教育研究会）
15 職業教育	「職業教育の課題と展望」 田村儀則（八戸水産高）	三上賢一（弘前工業高） 佐藤 陽（八戸工業高）	田村儀則（八戸水産高）
16 学校事務	「学校事務職員の役割・教員向け事務だよりをおして」 教員向けの事務だよりのものを持ち寄り、法改正や福利厚生等の連絡をどのようににわかりやすく伝えるか実践交流を深める。	佐井 誠（倉石中） 小林尚治（佃中）	

★参加申し込み…当日参加も可。

学校名等	氏 名	参加方法（○で囲む）	保育室（○で囲む）
		会場 ・ ZOOM	利用する ・ しない